

2008年3月期
(平成20年3月期) 第1四半期財務・業績の概況〔米国SEC基準〕



2007年7月31日

上場会社名 コナミ株式会社
コード番号 9766
URL <http://www.konami.co.jp>

上場取引所 東京証券取引所
ニューヨーク証券取引所
ロンドン証券取引所
シンガポール証券取引所

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上月 景正
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山口 憲明

TEL (03) 5770-0086

(百万円未満四捨五入)

1. 2008年3月期第1四半期の連結業績 (2007年4月1日 ~ 2007年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高及び営業収入		営業利益		税引前四半期 (当期)利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2008年3月期第1四半期	60,650	5.2	7,010	16.8	7,271	25.3	3,863	82.2
2007年3月期第1四半期	57,628	20.0	6,003	95.3	5,801	41.6	2,120	61.0
2007年3月期	280,279	—	28,145	—	27,567	—	16,211	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
2008年3月期第1四半期	28.14	28.13
2007年3月期第1四半期	15.46	15.45
2007年3月期	118.15	118.09

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2008年3月期第1四半期	306,535	176,453	57.6	1,285.44
2007年3月期第1四半期	294,659	162,361	55.1	1,183.77
2007年3月期	304,657	174,662	57.3	1,272.54

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2008年3月期第1四半期	489	6,778	4,277	47,971
2007年3月期第1四半期	3,029	2,409	4,934	64,518
2007年3月期	31,824	11,098	33,212	57,333

2. 2008年3月期の連結業績予想(2007年4月1日～2008年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高及び 営業収入		営業利益		税引前 当期利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	295,000	5.3	33,000	17.3	32,500	17.9	18,300	12.9	133.33

(注)現時点においては、前回公表(2007年5月22日)の業績予想に変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

※業績予想には、本資料の発表日現在に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれております。世界経済、競合状況、為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

1. 企業集団の状況

当社グループは当社(コナミ株式会社)、連結子会社22社及び持分法適用会社1社により構成される、娯楽産業と健康産業を通じて、お客さまに「価値ある時間(=「High Quality Life」)」を提供する企業集団であります。

事業の内容と当社、連結子会社及び持分法適用会社の各事業における位置付け並びに事業別セグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、次の4事業は「6. セグメント情報」に掲げる事業別セグメント情報の区分と同一であります。

事業の種類	主要な会社	
デジタルエンタテインメント事業	国内	株式会社コナミデジタルエンタテインメント(注3)、 株式会社ハドソン、 コナリマニュファクチャリング&サービス株式会社
	海外	Konami Digital Entertainment, Inc.、 Konami Digital Entertainment GmbH、 Konami Digital Entertainment B.V.、 Konami Digital Entertainment Limited、 Konami Software Shanghai, Inc.、その他1社
健康サービス事業	国内	株式会社コナミスポーツ&ライフ、 コンビウエルネス株式会社、 コナリマニュファクチャリング&サービス株式会社、 リゾートソリューション株式会社(注2)、その他2社
ゲーミング&システム事業	海外	Konami Gaming, Inc.、 Konami Australia Pty Ltd、その他1社
その他の事業	国内	コナリマニュファクチャリング&サービス株式会社、 K P E株式会社、コナリアルエステート株式会社、その他2社
	海外	Konami Corporation of America、 Konami Digital Entertainment B.V.、その他1社

(注) 1. 各事業毎の主要な会社は、複数事業を営んでいる場合にはそれぞれに含めております。

2. 関連会社であり、持分法適用会社であります。

3. 株式会社コナミデジタルエンタテインメントは、2007年4月1日付で、コナミキャリアマネジメント株式会社、株式会社コナミスクール及び株式会社メガサイバーと合併しております。

2. 経営成績及び財政状態

1. 経営成績

(1) 当第1四半期の概況

当社グループに関連する娯楽産業（エンタテインメント）におきまして、家庭用ゲームソフト市場は、各ハードメーカーによる据置型次世代ゲーム機及び携帯型ゲーム機の普及が進んだことと、それぞれのゲーム機が持つ異なる特徴を活かしたコンテンツの提供により、年齢・性別を問わず幅広い層のユーザーが獲得され、新たな成長軌道に入っております。また、業務用ゲーム機市場においても、オンライン機能を利用したサービスの普及、店舗のスクラップ&ビルドによる大型化などにより、利用者層が拡大し、それに伴うコンテンツの需要喚起が起こっております。

健康産業におきましては、2008年4月からの「健診・保健指導」における医療保険者の実施方策について、自発的な運動習慣の定着と食生活の改善など、生活習慣病予防を目的とした健康維持に対する取り組みが具体化してまいりました。また、一層の高齢化社会を迎えるにあたり、介護予防への取り組みの重要性が明らかになり、さらに、団塊世代の退職が本格化しており、健康に対する需要と関心の高まりは、今後も市場を拡大させることが予想されます。

このような状況のもと、デジタルエンタテインメント事業におきまして、家庭用ゲームソフトでは、野球ゲームをマルチプラットフォームで展開し、堅調な販売を記録いたしました。また、アミューズメント施設向け商品の販売が依然好調で、ビデオゲーム及びメダルゲームにおける定番商品が市場で好評を得ております。

健康サービス事業におきましては、健康増進や介護予防への関心を高めている団塊世代をはじめ、あらゆる世代の健康を支援する各種プログラムの拡充を行い、サービス面においても各施設へのオリジナルIT健康管理システムの導入を推進し、更なる会員数の獲得に努めました。また、受託施設についても、当社の持つノウハウと実績が日本全国で広く認知されており、受託施設数は増加しております。

ゲーミング&システム事業におきましては、市場が拡大する北米での基盤強化やコンテンツの拡充に努めたことにより、売上が増加しております。また、「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」は着実に販売を伸ばしており、設置台数の増加に伴い、保守・サービスなどの定期収入が確保でき、収益構造の安定化が進みました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高606億5千万円（前年同期比5.2%増）、営業利益70億1千万円（前年同期比16.8%増）、税引前当期利益72億7千1百万円（前年同期比25.3%増）、当期純利益38億6千3百万円（前年同期比82.2%増）となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの業績

事業別売上高及び営業収入（セグメント間売上高を含む）要約版

	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)	当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	増減率
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
デジタルエンタテインメント事業	32,038	34,800	8.6
健康サービス事業	21,313	21,617	1.4
ゲーミング&システム事業	3,501	3,572	2.0
その他の事業又は全社・消去	776	661	14.8
連結合計	57,628	60,650	5.2

(デジタルエンタテインメント事業)

ゲームソフトでは、国内市場では「プロ野球スピリッツ4」や「実況パワフルプロ野球ポータブル2」などの野球タイトルが堅調な売上を記録しました。海外においては、欧州向け「PRO EVOLUTION SOCCER」シリーズや「Eledees」(日本名: Elebits)、「METAL GEAR SOLID PORTABLE OPS」が好評を博し、堅調な売上を記録しました。

トイ&ホビーでは、定番商品である「遊戯王トレーディングカードゲーム」シリーズを引き続きワールドワイドで展開し、売上が堅調に推移したほか、2007年4月からのアニメ放映開始に合わせ、「ブルードラゴンロールプレイングカードゲーム」シリーズの展開を開始し、小学生を中心に好評を博すなど、順調に売上を伸ばしております。また、オリジナルコンテンツのフィギュア商品「武装神姫」は、オンラインゲームとの連動もさらに進化し、これまで以上の楽しみを提供しております。

アミューズメントでは、全国のアミューズメント施設をネットワークで結ぶ“e-AMUSEMENT”サービスを利用した商品として、市場で好評を得ておりますオンライン対戦型麻雀ゲームのシリーズ最新作「麻雀格闘倶楽部6」を発売し、順調な売上を記録しております。また、定番の音楽ゲームでは、シリーズ最新作「pop'n music 15 ADVENTURE」を発売し、堅調に推移しております。メダルゲームでは、安定した人気を誇る「GALAXYWORLD」シリーズの第7弾「EUROQUEEN」を発売し、市場で高い評価を得ております。

オンラインでは、2007年4月より、オリジナルコンテンツのフィギュア商品「武装神姫」と連動したオンラインゲームサービス「神姫NET」において、対戦バトル機能を体感できる「武装神姫BATTLE RONDO」をスタートしました。また、自宅のPC画面がそのまま水槽になって様々な魚を飼育できるリラクゼーションゲーム「アクアノート ~Online Aquarium~」をリリースし、多くのユーザーの皆様楽しんで頂いております。モバイル事業では、コナミのゲーム楽曲が楽しめる「KONAMI MUSICフル」に動画配信機能・ユーザーレビュー機能などを追加し、好評を博しております。

マルチメディアでは、人気ゲームソフトに連動したゲーム攻略本・関連書籍・音楽CDなどを発売し、堅調に推移いたしました。また、健康書籍「7歳若返る健康法シリーズ」は第9弾まで発売し、堅調に推移しております。

以上の結果、当事業の当第1四半期の連結売上高は348億円（前年同期比8.6%増）となりました。

(健康サービス事業)

健康サービス事業におきましては、直営施設運営事業では、60才以上限定のいわゆる団塊世代の方々へ健康を支援する目的でリーズナブルな会費設定の「エグザス支店会員S」を5月より新設、6月には「2007年サマーキャンペーン」を実施し、更なる会員数の獲得を目指してまいりました。施設内のサービス面におきましては、引き続き個人の運動履歴や健康増進のためのデータを管理するIT健康管理システム「e-エグザス」の導入を推進しております。また、2008年4月よりスタートする医療制度改革関連法に基づく生活習慣病リスク者向けの保健指導に対応したプログラム「健康プラス」、生活習慣病を予防する「6 WEEKS」、高齢者向け運動指導では「はつらつ

健康塾」など、ライフスタイルの改善や地域支援事業を推進する各種プログラムを用意しております。

受託施設運営事業では、前年より引き続き当社のノウハウや実績を公共施設の運営に生かし、地域社会の皆様の健康増進に積極的に取り組み、世田谷区(東京)、和光市(埼玉)、刈谷市(愛知)など新たに7施設が加わりました。2007年6月末現在、直営施設と受託施設を合わせ全国319施設になっております。

健康商品事業では、昨年度に引き続き、USB接続型多機能歩数計「e-walkeylife 2」、TV接続型健康管理ツール「健身計画TV」、PC対応ソフト「健身計画2」、オリジナルサプリメントを販売し、多様化する健康ニーズに合わせて商品拡充を進めております。

2007年6月に東京ビッグサイトで開催された「ヘルス&フィットネスジャパン2007」では、適度な負荷を自動で測定し、効率よく脂肪を燃焼することができる「新エアロバイク」、デジタルスタジオプログラムの新しい形を提案した「GROOVE MOTION DDR」を紹介し、好評を博しました。また、新たなサービスとして、コナミスポーツクラブでは会員様に対し、当社と資本・業務提携をしているリゾートソリューション株式会社が提供する、ホテルやレジャー施設、人間ドックや健康診断等6,000種類以上のサービスの優待利用を開始しております。

以上の結果、当事業の当第1四半期の連結売上高は216億1千7百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

（ゲーミング&システム事業）

ゲーミング&システム事業におきましては、ペンシルベニア州やオクラホマ州を始めとしたカジノ合法化地域拡大や、既存市場拡大を続ける北米を筆頭とした世界規模での市場成長に対応すべく、新商品の開発及び市場投入を進めております。

特にマカオを中心に急速に発展中のアジア市場に対しては、6月にマカオにて開催された「Global Gaming Expo Asia 2007」にて、今回初めてKonami Gaming Inc.（ラスベガス）とKonami Australia Pty Ltd（シドニー）が共同で出展いたしました。その中で、北米市場でも人気の高いプロダクト商品「ミスティカル・テンプル」や「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」が来場者の注目を集めました。

また、北米におきましては、パーティシペーション（プロフィットシェア形式の機器販売方法）や「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」の保守サービスなどによる安定収益の確保を図っております。

一方、豪州の国内市場におきましては、7月からのニューサウスウェールズ州におけるクラブやパブでの禁煙場所設置の規制等の影響により、横ばいの市場推移が続きますが、認可待ちの新商品の市場投入を含め、豪州国内及び隣国のニュージーランドでの受注の拡大を進めております。

今後は、引き続き、発展中のアジア、南米、欧州などの市場に対応したグローバルな開発体制の構築を推進するとともに、現在推進中のOEMを始めとする他社との戦略的提携等も視野に入れ、業績拡大を図ってまいります。

以上の結果、当事業の当第1四半期の連結売上高は35億7千2百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

2. 財政状態

当第1四半期の概況

	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)	当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	増減
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,029	489	2,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,409	6,778	4,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,934	4,277	657
為替活動の現金及び現金同等物に対する影響額	138	1,204	1,066
現金及び現金同等物の純増減 (△) 額	4,176	9,362	5,186
現金及び現金同等物の期末残高	64,518	47,971	16,547

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して93億6千2百万円減少し、当第1四半期末には479億7千1百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

また、当第1四半期における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において営業活動により獲得した資金は、4億8千9百万円（前年同期比83.9%減）となりました。

これは主として、当期純利益の増加等があった一方で、棚卸資産の増加や仕入債務に係る資金収支の減少があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において投資活動により使用した資金は、67億7千8百万円（前年同期比181.4%増）となりました。

これは主として、事務所移転に伴う設備投資や差入保証金の増加等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において財務活動により使用した資金は、42億7千7百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

これは主として、配当金の支払による支出等によるものであります。

3. 連結貸借対照表

科目	前第1四半期 (2006年6月30日)		当第1四半期 (2007年6月30日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1. 現金及び現金同等物	64,518		47,971		57,333	
2. 受取手形及び売掛金 (貸倒引当金控除後)－2006 年6月30日、2007年6月30 日及び2007年3月31日現在 の貸倒引当金はそれぞれ526 百万円、537百万円及び540 百万円	24,163		25,921		29,729	
3. 棚卸資産	24,496		30,860		24,236	
4. 繰延税金資産	16,416		13,714		14,877	
5. 前払費用及びその他の流動 資産	8,021		13,984		12,086	
流動資産合計	137,614	46.7	132,450	43.2	138,261	45.4
有形固定資産	41,188	14.0	57,990	18.9	53,294	17.5
投資及びその他の資産						
1. 市場性のある有価証券	442		660		701	
2. 関連会社に対する投資	5,996		6,322		6,213	
3. 識別可能な無形固定資産	38,414		38,456		38,585	
4. 営業権	22,606		22,710		22,738	
5. 差入保証金	25,531		28,358		24,906	
6. その他の資産	19,173		16,760		17,366	
7. 繰延税金資産	3,695		2,829		2,593	
投資及びその他の資産合計	115,857	39.3	116,095	37.9	113,102	37.1
資産合計	294,659	100.0	306,535	100.0	304,657	100.0

科目	前第1四半期 (2006年6月30日)		当第1四半期 (2007年6月30日)		前連結会計年度 (2007年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1. 短期借入金	601		—		—	
2. 1年内返済予定の長期借入 債務及びキャピタル・リー ス債務	24,158		22,984		23,073	
3. 支払手形及び買掛金	19,700		18,877		24,002	
4. 未払税金	1,879		826		1,740	
5. 未払費用	15,512		22,759		19,179	
6. 前受収益	5,618		6,322		5,661	
7. その他の流動負債	7,410		10,858		8,811	
流動負債合計	74,878	25.4	82,626	26.9	82,466	27.1
固定負債						
1. 長期借入債務及びキャピタ ル・リース債務(1年内返済 予定分を除く)	34,747		23,707		24,248	
2. 退職給付引当金	2,577		1,365		2,708	
3. 繰延税金負債	12,575		12,304		12,207	
4. その他の固定負債	5,191		6,942		5,669	
固定負債合計	55,090	18.7	44,318	14.5	44,832	14.7
負債合計	129,968	44.1	126,944	41.4	127,298	41.8
(少数株主持分)						
少数株主持分	2,330	0.8	3,138	1.0	2,697	0.9
(契約債務及び偶発債務)						
契約債務及び偶発債務						
(資本の部)						
資本金	47,399	16.1	47,399	15.5	47,399	15.6
普通株式—無額面：授権株式 数450,000,000株 発行済株式数 2006年6月30日、2007年6月 30日及び2007年3月31日現在 143,555,786株						
資本剰余金	77,218	26.2	77,227	25.2	77,213	25.3
利益準備金	284	0.1	284	0.1	284	0.1
利益剰余金	52,174	17.7	62,717	20.5	62,560	20.5
その他の包括利益累計額	3,966	1.3	7,195	2.3	5,617	1.8
自己株式—取得原価 2006年6月30日現在 6,399,854株 2007年6月30日現在 6,285,738株 2007年3月31日現在 6,300,970株	18,680	6.3	18,369	6.0	18,411	6.0
資本合計	162,361	55.1	176,453	57.6	174,662	57.3
負債、少数株主持分及び 資本合計	294,659	100.0	306,535	100.0	304,657	100.0

4. 連結損益計算書

科目	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)		当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)		前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
売上高及び営業収入						
(1)製品売上高	38,062		40,782		199,620	
(2)サービス収入	19,566		19,868		80,659	
売上高及び営業収入合計	57,628	100.0	60,650	100.0	280,279	100.0
営業費用						
(1)製品売上原価	21,007		21,372		118,806	
(2)サービス原価	18,525		18,707		74,700	
(3)販売費及び一般管理費	12,093		13,561		58,628	
営業費用合計	51,625	89.6	53,640	88.4	252,134	90.0
営業利益	6,003	10.4	7,010	11.6	28,145	10.0
その他の収益(費用)						
(1)受取利息	226		266		821	
(2)支払利息	273		243		985	
(3)その他－純額	155		238		414	
その他の収益(費用)－純額	202	0.4	261	0.4	578	0.2
税引前当期利益	5,801	10.0	7,271	12.0	27,567	9.8
法人税等	3,470	6.0	3,117	5.1	10,919	3.9
少数株主利益及び持分法投資利益調整前当期利益	2,331	4.0	4,154	6.9	16,648	5.9
少数株主利益	214	0.3	438	0.7	575	0.2
持分法投資利益－純額	3	0.0	147	0.2	138	0.0
当期純利益	2,120	3.7	3,863	6.4	16,211	5.7

(1株当たり情報)

区分	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)	当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)
1株当たり当期純利益	15.46円	28.14円	118.15円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	15.45円	28.13円	118.09円
加重平均発行済株式数	137,154,887株	137,259,918株	137,202,151株
潜在株式調整後発行済株式数	137,218,238株	137,298,107株	137,271,645株

5. 連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)	当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動による キャッシュ・フロー			
当期純利益	2,120	3,863	16,211
営業活動によるキャッシュ・フ ローへの調整項目			
減価償却費	2,625	3,037	11,757
貸倒引当金の純増減()	9	34	76
持分法投資損益()	3	147	138
少数株主損()益	214	438	575
繰延税額	801	1,055	2,621
資産及び負債の増減			
受取手形及び売掛金の 純増()減	8,533	4,929	4,716
棚卸資産の純増()減	4,375	6,524	4,298
支払手形及び買掛金の 純増減()	38	6,404	3,354
未払税金の純増減()	5,745	42	7,190
未払費用の純増減()	30	807	3,567
前受収益の純増減()	265	659	309
その他－純額	859	466	416
営業活動による キャッシュ・フロー	3,029	489	31,824

	前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)	当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)	前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
投資活動による キャッシュ・フロー			
資本的支出	2,125	3,093	9,308
新規子会社の取得による収入 (支出)	227	—	202
差入保証金の純増()減	20	3,604	705
営業譲受による支出	—	—	1,096
その他—純額	37	81	213
投資活動による キャッシュ・フロー	2,409	6,778	11,098
財務活動による キャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減()	352	—	1,119
長期借入債務の返済による支出	228	148	1,995
キャピタル・リース債務の元本 返済による支出	654	678	2,814
社債の償還による支出	—	—	20,000
配当金の支払	3,673	3,476	7,420
自己株式の取得による支出	49	8	93
その他—純額	22	33	229
財務活動による キャッシュ・フロー	4,934	4,277	33,212
為替変動の現金及び現金同等物 に対する影響額	138	1,204	1,125
現金及び現金同等物の純増減 ()額	4,176	9,362	11,361
現金及び現金同等物の期首残高	68,694	57,333	68,694
現金及び現金同等物の期末残高	64,518	47,971	57,333

6.セグメント情報

(1) 事業別セグメント情報

前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	31,678	21,295	3,501	1,154	57,628
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	360	18	—	378	—
計	32,038	21,313	3,501	776	57,628
営業費用	25,469	19,545	3,094	3,517	51,625
営業損益	6,569	1,768	407	2,741	6,003

当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	34,342	21,513	3,572	1,223	60,650
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	458	104	—	562	—
計	34,800	21,617	3,572	661	60,650
営業費用	26,300	19,833	3,177	4,330	53,640
営業損益	8,500	1,784	395	3,669	7,010

前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	163,654	88,326	16,744	11,555	280,279
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,206	133	—	1,339	—
計	164,860	88,459	16,744	10,216	280,279
営業費用	133,463	80,937	14,574	23,160	252,134
営業損益	31,397	7,522	2,170	12,944	28,145

1. 各事業別セグメントにおける主な事業内容は、以下のとおりであります。

デジタルエンタテインメント事業	ゲームソフト、トイ&ホビー、アミューズメント、オンライン、マルチメディア等のデジタルコンテンツ及びそれに関わる製品の制作、製造及び販売
②健康サービス事業	スポーツクラブ施設運営、フィットネス機器及び健康関連商品の制作、製造及び販売
③ゲーミング&システム事業	カジノ施設向けゲーミング機器及びカジノ・マネジメント・システムの開発、製造、販売及びサービス

2. その他の項目は、米国財務会計基準書（SFAS）第131号「企業のセグメント及び関連情報に関する開示」における量的基準を満たさない事業から構成されております。
3. 全社の項目は、主に本社費用から構成されております。
4. 消去の項目は、主にセグメント間取引高消去及び棚卸資産の未実現利益消去等から構成されております。
5. セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に、デジタルエンタテインメント事業から健康サービス事業へのハードウェア製品及び部品の販売から構成されております。

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期 (自 2006年4月1日 至 2006年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	47,753	5,148	2,958	1,769	57,628	—	57,628
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,752	200	122	35	4,109	4,109	—
計	51,505	5,348	3,080	1,804	61,737	4,109	57,628
営業費用	45,358	5,686	3,234	1,575	55,853	4,228	51,625
営業損益	6,147	338	154	229	5,884	119	6,003

当第1四半期 (自 2007年4月1日 至 2007年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	50,346	4,439	4,136	1,729	60,650	—	60,650
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,702	1,070	0	37	2,809	2,809	—
計	52,048	5,509	4,136	1,766	63,459	2,809	60,650
営業費用	45,443	5,575	3,866	1,552	56,436	2,796	53,640
営業損益	6,605	66	270	214	7,023	13	7,010

前連結会計年度 (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	206,343	34,847	31,650	7,439	280,279	—	280,279
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,219	1,904	295	530	29,948	29,948	—
計	233,562	36,751	31,945	7,969	310,227	29,948	280,279
営業費用	205,831	40,346	28,860	7,249	282,286	30,152	252,134
営業損益	27,731	3,595	3,085	720	27,941	204	28,145

外部顧客に対する売上高については、製品が販売され、サービスが提供される場所に基づいてそれぞれの地域を決定しております。

(注記)

この連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成しております。